

だい ぶ かだい  
第5部 課題

だい かい  
第16回

まいにち にゅうりょく  
毎日パソコン入力コンクール

ぜんこくたいかい  
全国大会

か だい  
【課題】

だい ぶ わぶん しょうがくせいこうがくねん  
第5部 和文A 小学生高学年

かんりょうく  
ことわざ・慣用句②

せいげんじかん ぶん  
制限時間5分

とうじつ ちゅういじこう  
【コンクール当日の注意事項】

1. 競技委員の指示があるまで、この用紙に手を触れないでください。
2. 競技委員の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
3. 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

※この課題は、小学館 例解学習ことわざ辞典 第二版より引用しました。  
(文字数2, 1000字程度)

かだいぶんしょう きんそくもじ  
〈課題文章の禁則文字について〉

まいにち にゅうりょく ぶんしょう げんぶん と こ  
毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでい  
るため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルど  
おりに入力すると正解になります。

しゅさい  
主催

まいにちしんぶんしゃ  
毎日新聞社

いっばんしゃだんほうじん にほん のうりょくけんていいいんかい  
一般社団法人 日本パソコン能力検定委員会

こうえん  
後援


そうむしょう  
総務省



もんぶかがくしょう  
文部科学省

こうせいろうどうしょう  
厚生労働省

けいざいさんぎょうしょう  
経済産業省ほか

1行32字詰で、つぎの文章を入力してください。


※  の箇所での改行 (Enter) してください。

  息が長い

活動したり、売れたりする期間が長い。

この商品は売りが落ちず息が長い。




 まかぬ種は生えぬ

前もって努力しなければ、よい結果は生まれない。原因がなければ結果はない。

勉強しなくちゃ大学はむり、まかぬ種は生えぬよ。




 我に返る

気がつく。ぼんやりしていた状態から、はっと気がつき、本心に返る。



うとうとしていたら名前を呼ばれて、はっと我に返る。




 水があく

競争している人や物の間で、差ができる。大きな差がつく。

宇宙ロケットの技術では、日本とアメリカとの間に大きく水があいて

いる。




 気は心

少ないが気持ちもちがこめられていること。

気は心で、少しですがおめしあがりください。




 色めき立つ

何かが起こりかけて、人々が急に活気づいたり、あわてたりする。

逆転のチャンスが来て色めき立つ。




 舌を巻く

ことばが出ないほど、おどろいたり、感心したりする。

相手選手の見事なわざに舌を巻く。



 雲をつかむ

とらえどころがなく、はっきりしない。

何億年も前と言われても、まるで雲をつかむ話でぴんと来ない。



きどうにの乗る

予定よていどお通りに、ものごとが順調じゅんちょうに進んでいくようになる。

開店かいてん後ご半年はんとしたってやっと店がきどうにの乗る。

伏線ふくせんを張る

後あとに述べることを前まえもってそれとなくふれておく。

前まえのほうでさりげなくふれて伏線ふくせんを張る。

聞くは一時いっときのはじ、聞かぬは一生いっしょうのはじ

知らないことを人ひとに聞きいて、はずかしい思おもいをするのはその時ときだけのこと。しかし聞きかないで知らないままでいれば、一生いっしょうずっとはずかしい思おもいをしなくてはならない。わからないことは、その場ばですぐ聞ききなさいという教おしえ。

あの時とき聞きいておけばよかった、聞きくは一時いっときのはじ、聞かぬは一生いっしょうのはじ。

二束三文にそくさんもん

非常ひじょうに安やすい値段ねだん。

古本屋ふるほんやに古雑誌ふるざっしを二束三文にそくさんもんで売うる。

群ぐんを抜く

大ぜいの中なかで、ずばぬけて優すぐれている。抜群ばっぐんである。

オリンピックで群ぐんを抜く強つよさを見せた。

竜頭蛇尾りゅうとうだび

はじめは勢いきおいが盛さかんだが、終わりになるにしたがってふるわなくなる

こと。花火大会はなびたいかいは途中とちゅうから雨あめに降ふられて竜頭蛇尾りゅうとうだびに終わる。

右みぎに出る

その人ひとよりも、すぐれている。

テニスでは、彼かれの右みぎに出る者ものはいない。

心機一転しんきいつてん

あることをきっかけにして、気分きぶんがすっかり変かわること。

ちゅうがくせい しん き いったん きゅう べんきょう  
中学生になって心機一転、急に勉強するようになった。 ◀

しん しん き えい  
新進気鋭 ◀

その社会へ新しく現れて、勢いが盛んなようです。また、その人。 ◀  
しん しん き えい  
新進気鋭のバイオリニストを聴きに行く。 ◀

ふ わらいどう  
付和雷同 ◀

はっきりとした自分の考えを持たず、簡単にほかの人の意見につき従  
うこと。 ◀  
ふ わらいどう ぐんしゅう そくそく くわ おお  
付和雷同する群衆が続々と加わり、さわぎが大きくなる。 ◀

けいせつのこう  
けいせつの功 ◀

まず なか くろう べんきょう  
貧しい中で苦勞して勉強すること。 ◀  
けいせつのこう み ごとごうかく  
けいせつの功になって、見事合格する。 ◀

か ちようふうげつ  
花鳥風月 ◀

し ぜん うつく け しき し ぜん び  
自然の美しい景色。自然の美。 ◀  
か ちようふうげつ とも く  
花鳥風月を友とし、のんびり暮らす。 ◀

うしろがみをひかれる ◀

あと こと き なる まえ すす こころのこ おも き  
後の事が気になって前に進みにくい。心残りがする。思い切れない。 ◀  
うしろがみをひかれる 思いで故郷を後にする。 ◀

は ちく いきお  
破竹の勢い ◀

もうれつ いきお すす  
猛烈な勢いでつき進むようです。 ◀  
は ちく いきお か すす  
破竹の勢いで勝ち進む。 ◀

へい しん てい どう  
平身低頭 ◀

ひれ伏して頭を低く下げたおそれいること。ひたすらあやまること。 ◀  
へい しん てい どう  
平身低頭して、おわびする。 ◀

ひとかわ  
一皮むける ◀

ぎ じゆつ すがたかたち せんれん まえ  
技術や、姿形が洗練されて、前よりよくなる。 ◀  
と かい ぐ ひとかわ うつく  
都会暮らしで一皮むけて美しくなる。 ◀

はいすい じん  
背水の陣 ◀

もうこれ以上後にひけない立場にたち、決死の覚悟で、全力をつくすこと。↙

背水の陣で試合にのぞむ。↙

↙

泣きっ面に蜂↙

不幸な上にさらに不幸が重なること。つらい時につらいことが重なること。↙

転んだ拍子にさいふをなくし泣きっ面に蜂だ。↙

↙

たいこばんをおす↙

絶対にまちがいのないことを保証する。↙

けがは完全に治りましたと医者からたいこばんをおされる。↙

↙

猫に小判↙

どんな立派なものでも、価値がわからない人には、何の役にも立たないこと。↙

小さい子に高価なカメラは猫に小判だ。↙

↙

不言実行↙

あれこれ理屈を言わないで、やるべきことをだまって実行すること。↙

あれこれ理屈をこねるくせに実行しない人が多い中で、彼は不言実行の人だ。↙

↙

しゅしゃせんたく↙

多くのものの中から取ったり捨てたりして選び出すこと。↙

しゅしゃせんたくして五つにしぼる。↙

↙

頭が上がらない↙

相手が自分よりすぐれていると感じて、引け目を感じる。↙

いつも宿題を手伝ってもらっているので、姉には頭が上がらない。↙

↙

口火を切る↙

あるものごとを、いちばん先に始める。↙

運動会の口火を切って、一年生の徒競走が始まった。↙

↙

残り物には福がある↙

人の取り残したもののや、最後に残ったものには、思いがけないよい物がある。

残り物には福があるので、最後に残ったくじを引いたら、一等が当たった。

顔が立つ

めいよが守られる。めんぼくが立つ。

金メダルを取り、これで顔が立った。

満を持する

準備を十分ととのえて、機会を待つ。

ここで代打が満を持して登場する。

胸を打つ

強く感動する。人を強く感動させる。心を打つ。

厳しい自然の中で必死に生きようとする動物の姿が胸を打つ。

すずめ百までおどりを忘れず

どんなに年を取っても、子どものころ覚えたことや身につけた習慣は、なかなかぬけないし、忘れないものだ。

祖母はすずめ百までおどりを忘れずで、お手玉がうまい。

机上の空論

頭の中で考えただけの、実際には役に立たない考えや計画。

そんなのできっこない、机上の空論だよ。

足がすくむ

足が縮むように感じて動けなくなる。

見下ろすとあまりの高さに足がすくむ。